

---

# 精霊としりとり

やー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

精霊としりとり

### 【コード】

N0469Q

### 【作者名】

やー

### 【あらすじ】

好きにしる（仮）シリーズ短編第六弾。

一人旅を続ける女魔法使いの一時。

(るー) アスファルトの上をとことこ一人で歩きながら、色々と考えてみる。

一人旅に戻って、色々変わった。(ひまー)

まあ変わらない方がおかしい、(ほえー)と言うのもある。

……まあ、如何でも良いけど。(わーい)

(れー)ふうむ、色々な道具管理が一人と言うのは少し面倒かも知れないが、(ふふーん)まあいいか。

……少し、カチンと来たが大人の対応をしよう、うん。(ふえー)  
私は公園に立ち寄り、ベンチに座り込んでこめかみを抑えて集中する。

……。  
……。  
……。

あれ、貴方が直接此処に来るなんて珍しいね。

あれだけ人の周りをつろちよろしておいて、よくまあそんな事が言えるね。

暇なんだから仕方ないじゃん。それに目には見えない様にしてた筈だけど。

私には周囲の何かが動いているのが感覚で分かるんだよ……相変わらず此処は氷付けなんだね。

これが貴女の心の力の源であり、私の世界だよ。この氷付けの世界がね。  
そ。

随分反応が薄いね。自分の深層意識内に居るのに。  
そうだったね。

むう、一体何の用なのさ。

鬱陶しいから注意しに来た。

鬱陶しいことをしたっけ？ いたい。

人の周囲を飛んでたくせに良く言う。

い、痛いよ！ この人、契約精霊ぶったあ！

心の中に居るもう一人の人格に攻撃出来るんだね。勢いに任せてやってみた甲斐があるってものだね。

ひ、酷いよ！ 何でこんな事するの！？  
賤。

貴女に賤けられる理由がないよ！

だって、元々は私のもう一つの人格でしょう？ だったら私は貴女の母親みたいなもの。

うう……むう。

って、あれ何処に行くの？

「ううわーん！ お母さんがぶったあっ！」

っ、何をいきなり！

あ、怒った？ わわ、肩を掴まないでく、首を絞めないで…

…！

お、ま、え、はっ！ いきなり何をしでかしてくれてる！？

だって母親がいきなりぶってくるんだもん。娘ならそれなりの対応をして当然じゃない？

何でそうなる！？

何でそういう反応！？

疑問に対して疑問で返された！？

ひ、酷いよお母さん！

だから、誰がお母さんだ！

自分でいったんじゃんー！

……何で未婚の身で我仮言い通しの子供を持った母親の気分を味わう必要があるんだ……。

子供より妹じゃない？

お前が言っな。

と言うことでしりとりしよー。

何故に。

暇だから。

ぶつよ。

ぶつてから言ったー……。

もう一度ぶたれたい？

もう一度主導権奪って叫んでや。

出来る、いややらせるとでも思った？

く、首を絞めるのは……やめ。

全く。人の許可無く勝手に体を使うな！

遊んでー遊んでー暇だよーお母さん暇だよー。

……じゃあお母さんと本気で殴り合いっこしようか。

虐めるーお母さんが指鳴らして子供を虐めよーとするー。

痛いのは、初めだけ。次第に気にならなくなって、場合によっては快感になる。

やだやだーしりとりがいいーしーりーとーりーしーりーとーりー！

……はあ、分かった分かった。しりとりをすれば良いんでしょう。

わーい。じゃあしりとりのりー。

……り？

りー。

……林檎。

ゴリラー。

……ラッコ。

コアラー。

……ラー油好きっ子。

コーラー。

……ラー油漬け大好きっ子。

コラ。

……ランドリア王国大好きっ子。

仔鹿ー。

……過去。

小石ー。

……シーリオ共和国大好きっ子。

……ねえ、大好きっ子は止めようよ。

特にルールを決めなかったのはそっち。早く言いなよ。

むーむー屁理屈ー。

なら貴女も屁理屈で物事を通せば良い。それとも、今からルールを決める？

むーむーずーるーいーじゃあ、そう言うとして付けたのは禁止ー。

何を持って「とって付ける」と言う気？ なら、私の屁理屈を持って貴女の全てを否定しようか？

この人面倒くさいよー。

その面倒くさい相手をしているのは貴女。そしてそれを望んだのも貴女。私の記憶を見れるんでしょ？ 毒を食らわば皿まで、と言う言葉を搜してみれば？

……分かったよ。じゃあ、今度から不特定の誰かを言うの禁止。称号とか呼ばれ名とか。

……別に良いけど。

じゃあわたし！ 米ー。

……一々伸ばさなくて良いよ。めんこ。

小池ー。

……蹴り合いっこ。

小鳥ー。

- ……凜々しい蹴り合いつつ。
- 懇望。
- ……売り子。
- 棍棒。棒の方の。
- 言わなくてもイメージで伝わる。牛の仔。
- 仔虎。
- ……ランドリア王国産のきのこ。
- 仔犬。
- ……ぬめぬめしているきのこ。
- こ、米屋。
- ……奴。
- こ、子ゴリラ。
- ……ランドリア王国産の林檎。
- ご、誤字。
- ……事故。
- こ、コメント。
- ……トキヴァーリユ湖。
- こ、氷。
- ……リスの仔。
- こ、懲り。
- ……リオウクット帝国産のきのこ。
- こ、腰。
- シオパールシティ産のたけのこ。
- こ、黄金色。
- ……牢固。
- こ、コント。
- ……東湖。
- こ、孤児。
- ……上古。
- こ、コイル。

……瑠璃色湖。

な、何それ。

私の記憶を辿れば？ あるよ。

え、えつと、る、瑠璃色に光る湖？ ラピスラズリって言う

魔宝石の採掘所の別名称？

そうだよ。分かったら次。

こ、恋。

……炒り子。

こ、琥珀。

……九個。

こ、恋心。

……六個。

こ、コア。

……愛顧。

こ、小悪魔。

……舞妓。

こ、古都。

……トキヴァーリユ王国産のたけのこ。

こ、こ、くお、くお、うお……ヴお……。

「おい、その君！ 大丈夫かい？」

「……っは！」

行き成り揺さぶられた。そのせいか深層意識に居た私の意識が急に現実に引つ張り戻された。

いや、引き上げられたと言つべきか？ どっちにせよ、他人の接触で深層意識から戻されたようだ。

で、そんなおせつかいは一体何処のだ、れ……。

「目が覚めたかい？」

いやあ吃驚したよ。行き成り奇声を上げたと思ったたらそのまま眠ったように座り込んだままだったから」

……………お、とこ……………。

「大丈夫かい？ 立てる？」

ベンチから飛び去る、地面を踏みしめ、脚のばねを利用して低空を跳ぶ。続いて地面蹴り、そのまま更に脚のばねを用いて木の上まで跳躍し、木から木へ次々に飛び移り

（こ、仔狐）

五月蠅い黙れお前に付き合う余裕はない。

（えーと言うか何から逃げてるの？）

何からってそんなの 何からだっけ……………。

動く足を止め、地面に降り立つ。

日を見れば最後に見た時よりも傾いている。

「……………ま、いつか」

そして歩き出した。

(後書き)

別の人格、或いは深層意識に住んでいる同居者としりとりするってどういう事か。

適当に書いた結果。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0469q/>

---

精霊としりとり

2011年8月27日03時37分発行